

1635

大 六

司 第 二 三 六 號

間宮海峡ニ於ケル航路設標經緯ノ件通牒

大正拾參年七月拾日

薩哈連州派遣軍參謀長佐藤

陸軍次官津野一輔殿

首題ノ件ニ關シ別紙寫為參考及送付候也

軍令 第七

13 2 8 5

寫

臨時機密第一六號ノ二三

大正十三年七月七日

臨時海軍防備隊司令近藤直方

軍參謀長佐藤榮樹殿

間宮海峡設標ニ関シ露國設標船ト交渉ノ件

本件ニ関シ六月十一日通牒致置候處其ノ後ノ經
過別紙ノ通ニ有之候

右通牒ス

(別紙添)

(終)

1636

秋

年

寫

露國設標船ト折衝經過報告(其ノ二)

六月十二日午前七時ヨリ栗橋葦埼ハ樺太水道ノ航路浮標設置ヲ開始セリ
カ、電報ヲ接受ス

(午前十一時十五分受信)

宛臨時防備隊司令

發 軍務局長

軍務機密第二三番電報

臨時防備隊機密第一七番電報受領

露國ハ帝國ノ保障名領ヲ承認シ居ラサル關係上樺太水道設標ハ公然認メシムルコトハ困難ナルヘク當方トシテハ作業上支障ナク事端發生ノ虞ナキニ於テハ更ニ進及ノ必要ナキ意向ニ付爲念
次々膠州艦長ヨリカ、電報ヲ受ク

(午前十一時五十五分受信)

宛臨時防備隊司令

發 膠州艦長

膠州機密第六番電報

本日午前五時頃ナジヨージヌイル第六第七浮標ヲ設置ス其ノ頃

1637

南方ヨリインジネール^レ来リ西船第六浮標附近ニ會シタルカ¹
 ジョージヌイ^レハ南下シ見エスナリインジネール^レ獨リ来リ第八浮標ヲ
 入レ次ヲ午前九時半本艦附近ニ投錨乗組ニ名来艦¹グブイト¹
 ノ使トシテ口頭ニテ浦邊海軍ニ日本海軍ノ来旨ヲ傳ヘ其ノ回答ヲ
 求メタルニ浦邊ノミエテハ即答出来スモスコ¹ニ間ヒ合セ中ナリ
 依テモスコ¹ヨリ返事来ル迄日本海軍ノ手ニテ樺太水道設標ノ
 事ハ待タレ度シ

右返事ハ尼港エテ得ラルル豫定ナルヲ以テ自今等ハ今ヨリ尼港
 ニ赴クナリト謂フ

別ニ當方ヨリハ何と謂フ¹インジネール^レハ直ニ投錨尼港方面ニ去
 レリ本艦午後二時¹ボビー¹岬¹登¹ツ島附近ニ行ク

北樺太台領中ナル現状ニ於テハ交通ヲ確保スル爲樺太水道ハ
 日本側エテ設標スルハ當然ノ事ニシテ彼ニ強ク之ヲ妨害セサル

コト明ナルト又今日迄ノ交渉ノ經過ヨリ推シテ内滿ニ吾業ノ
上ニ露國側ノ承認ヲ得ルコト極メテ困難ニシテ且ツ折衝ニ時日
ヲ費ストキハ漢期ニ切迫セル折柄樺太北端地方ノ漢場ニ赴ク我
カ船舶ノ北上ヲ遲延セシムル虞アリ旁々樺太水道ニ設標スヘキ
ヲ命シ既ニ其ノ作業中ナル有様ナルヲ以テ膠州艦長ヘ左ノ通電
報指令ス

(午後七時発信)

宛 膠州艦長

發 臨時防備隊司令

臨時機密第二〇番電

豫定通設標ニ着手セヨ而シテ左記要領ヲ敷衍シ内滿ニ先方ニ
我カ意圖ヲ了解セシムヘシ

北樺太ハ保障台領中ナルヲ以テ交通上樺太水道設標ハ是非
日本側ニテ行ハサルヘカラス實ハ間宮海峡南部ニ之ニ關係スルハ
尾港へ通スルモノ以テ日露親善ノ爲ニ特ニ之ヲ讓ラレタル次第ナ

リ又樺太水道ノ設標ヲ急ク理由ハ貴方ニ於テモ間宮海峡設標ヲ
 急キ居ルト同様本年ハ解氷通レ一級交通停滯セルヲ以テナリ此等ノ
 事情諒察アリタシ何レ因下進行中ノ日露交渉結了セハ内滿ニ解決
 スヘキモノナルヲ以テ今ノ處ニ宜シク現状ヲ諒察セラレシトヲ望ム
 次ヲ軍務局長宛左ノ通電報ス

(午後七時發信)

宛軍務局長

發臨時防備隊司令

臨時機密第一九番電

膠州ヨリノ電報ニ依レハ露船インジイネールニ乗組員本日午前十
 時膠州ニ來訪ダブイトフノ使トシテコト顯ニテ浦塩海軍ニ日本側ノ
 意圖ヲ傳ヘタルニ浦塩ノミニテハ即答出來スモスコレニ問ヒ合セ中
 ナルニ付回割アル迄日本ノ樺太水道設標ヲ待タシコトヲ望ム旨申
 出タリト

依テ膠州ヘハ豫定通設標ニ着手スヘキヲ命シ而露國側ヘハ北樺太

台鎮中ナルヲ以テ交通上樺太水道ハ日本ニテ設標セサルヘカラス本年
ハ解水通レ居ル為設標ヲ急ク要フルハ貴方ニ於テ間宮海峡ノ設
標ヲ急キ居ルト同様ナリ何レ曰露交渉結了セハ内滿ニ解決スヘキヲ
以テ今ノ處ハ現状ヲ諒察セシコトヲ望ム旨敷衍シテ内滿ニ先方
ニ我カ意圖ヲ通シ置ク様命シ置ケリ

午後五時我カ樺太水道設標ヲ終了シタル旨報告ニ接ス

膠州前電ヲ接シタル前ニ露國設標船ハ間宮海峡南水道第九、第一、
第二番浮標ヲ設置シ我レノ樺太水道設標作業ヲ速ク眺メツ、尼港
ニ向テ北上遂ニ臨時機密第二番電報ノ趣旨ヲ傳ヘルコト能ハスシテ
了レリ

六月十三日我カ樺太水道設標作業結了シタルヲ以テ各艦船隊ニ花
ノ通電報指令ス

臨時機密第二番電

(午前九時三十五分發信)

宛附屬艦船隊指揮官

發防備隊司令

一、栗橋葦埼へ便宜級港スヘシ故途南水道南部浮標ノ位置ヲ

測定セヨ

二、第六驅逐隊へ暫ク水道警備及膠州掩護ノ為其ノ地附近

ニ在ルヘシ

三、膠州へ爾後ノ交渉該通信中継ニ從事スヘシ

左ノ通軍務局長へ電報ヲ以テ報告ス

臨時機密第二ニ番電

(午前十時十五分發信)

宛軍務局長

發臨時防備隊令

樺太水道ノ浮標設置終ラヌ暫ク水道警備該今後交渉露國
ハ浮標返還ノ為第六驅逐隊膠州ヲ間宮海峡附近ニ止メ置タリ
露國設標船ト會合ノ機會ヲラハ浮標返還ノ交渉ヲ進メ意趣ノ疎
通ヲ計ルヲ可ナト思考シ左ノ通電報指示ス

臨時機密第二五番電

(六月十三日午後前十(時)發信)

宛膠州艦長

發臨時防備隊司令

狀況ニ依リ浮標渡シ名ノ交渉ヲ進メラレタシ其ノ際ヲ利用シ意
趣ノ融和ニ努メ撤標ノ際面倒ナキ様諒解セシメラレ度尙我カ構
太水道ノ浮標位置ヲ知ラシムルト共ニ露國側ノ浮標位置ヲ圖
上ニテ確メ置カレタシ

又¹ダブイト¹浮標受領ノ確証ヲ有セサル時ハ浮標ハ亞港ニ揚ケ
置クヲ以テ露國官憲ノ委任狀ヲ持參セルモノヲ亞港ニ派遣セハ何
時ニテモ渡スヘキコトヲ話シ置カレタシ

露國設標船ハ尼港方面ニ北上シタル以來姿ヲ發現サスニ浮標逆還
ノ交渉ヲモ進ムルコトヲ得スシテ終レリ

爾來構太水道南北端ニ驅逐隊ヲ分派シ露國設標船ノ來着ヲ
待ケツツ尙間宮海峡南北水道ニ入り彼ノ設標作業進捗ノ模様ヲ

注意セシム

六月二十日

露國設標船尾港ニ向ヒタル以來八日ヲ過クルモ其ノ安ヲ類カス依リテ
第六驅逐隊ノ二隻ヲ止メ其ノ半數及膠州ヲ亞港ニ留ラシム

六月二十三日

左ノ電訓ニ接ス

(六月二十日午後六時十分受信)

完臨時防備隊司令

陸軍務局長

軍務機密第二五番電

樺太航路設標ニ関シカラハシレヨリ交渉アリタルヲ以テ露國ヲレ
テ一定期間ニ正確ニ設標之カ監視補修ニ任シ且邦船ノ通運ニ
對シ課税セサルコトヲ承諾スルニ於テハ露國側ニ於テ設標スルコト
トシ差支ナキ旨回答セル處カラハシレテ言明スル所ニ依レハ事實上右
條件ヲ容ルルモノト認メラル尙カラハシレハ出先官憲ニ於テ打合セテ

遂に度希望ノ趣ニ付右ノ趣旨ニ依リ然ルヘク取計ヲヘシ右依命
進而設標状況至急電報アリタシ

依テ左ノ通達電ス

(午後九時五分発信)

宛 軍務局長

発 臨時防備隊司令

臨時機密第二七番電

軍務機密第二五番電報ヲ奉禱太航路ニハ臨時機密第二七番
電ニテ報告セシ通去ル十二日設標ヲ結了シ駆逐艦ニ隻ヲ配シ警
戒中ナリ露國側ハ十二日間宮海峡南水道第一ニ番浮標附近迄ノ
設標ヲ為シ中央政府ニ請訓ノ為ニ港ニ向ヒタリ以後ハ作業ヲ中止
シテ露國側カ禱太航路ニ設標ヲ強ク望ムニ於テハ御指示ノ條件
ヲ承諾セハ既ニ設置シタル我カ浮標ハ撤收シ彼ニ設標ヲ許スコト
トス右様御義知相成度

六月二十四日左ノ電報ヲ奉ク

(午後五時十二分受信)

宛臨時防備隊司令

發軍務局長

軍務機密第二六番電

軍務機密第二五番電報ハ樺太航路ニ於ケル設標ハ未ダ着手
ヲ前提トスルモノニシテ右ハ貴殿第二番電報ノヲ解辭ノ上
手達アリシ爲ナリ

就テハ實況ニ適應スルカ如ク交渉ヲ進ムル意向ニ付更ニ電報
スル迄交渉差控ヘラレ度

五月十七日左ノ電報ヲ受ク

(午後五時十一分受信)

宛臨時防備隊司令

發軍務局長

軍務機密第二七番電

樺太水道設標ニ関シ交渉中ノ處主義ニ於テ曰露ノ意見一致
シ實施上ノ問題ニ関シ先官憲ニ於テ協議スルモノト決定セラル
付軍務機密第二五番電報ノ趣旨ニ依リ交渉アリタシ

右交渉成立ノ上ハ現ニ設置セル標識ハ其ノ終久ヲ露國側ニ引續
クコトトシ若シ露國側ニ於テ希望スルニ於テハ之ヲ撤收シ露國側
ヲ之ヲ新ニ設置セシメラレ差支ナシ

右日軍ハ口軍務局長ノ訓電ニ基キ樺太水道警備中ノ驅逐隊ニ對シテ
ノ通電報指^令悉ス
(年後十時至ニ合衆信)

宛第六驅逐隊司令

發臨時防備隊司令

臨時防備隊第三口番電

露國設標船來リ樺太水道ニ設標セシトハ既ニ我ニ於テ設標
スミエシテ一般船舶ノ通航ニ公開セルヲ以テ露國側ヲ設標ノ要ナ
カルヘキコトヲ諒キ尚露國側ニ設標ヲ要求セハ軍務機密第五番
電報ノ趣旨ニ依リ左ノ條件ヲ承諾セシムルカ又ハ設置ノ終到雖久レ
一、航路浮標設置後ハ之ヲ補修シ常ニ通航ニ不便ナカラシム

ルコト

二、明年以後七解氷後遼瀋ナラ浮標ヲ設置スルコト

三、各水道共一級船舶ニ對シ通航自由ナルコト

四、樺太水道及久ノ間縣ニル間宮海峡南水道ノ南部ヲ通航ス

ル日本船舶ニ對シテハ如何ナル名義ヲ以テスルモ通航料無
課セサルコト

此ノ場合右承諾ノ旨署名セシメ置クスト若シ例ノ通商條約
機能ナシト統シ之ヲ拒ミ其ノ機能アルモノノ承諾ヲ請ヒメタル上
処置スルシ

五月九日樺太水道警備中ノ駆逐隊ハ間宮海峡南北水道ヲ便索
ノ結果露國側ニ於テ南水道第十五、第十六、第十七番浮標ノ設標ス
ミヤル旨報告ニ據タ

(後ニ至リ南水道第十五、第十六、第十七番浮標未済ニアラヌミヤル
任置通航上差支ナキ処ナリト浮標ノ準備少キ爲、設標スルヲ畧シタル

モノナルコトヲ知レリ)

今次ノ露國ノ浮標ハ小型ニシテ見惡シキモノ多ク又北水道ノ如キハ浮標後
置正シカラス為ニ驅逐艦サヘモ其ノ浮標ニ沿ヒ通路ヲ試ミタルニ三回東
洲セントセリト云フ

六月二十日

左ノ通狀號ヲ報告ス

(午前十一時四十分發信)

完

軍務局長
大要司全官

發信時防備軍司令

臨時機密第一番電

間宮海峡北水道浮標全部及南水道第十五、第十六、第十七番浮標、
外二十九日迄ニ露國側ニテ設標ヲ了レリ露國ノ浮標ハ見惡ク其ノ設
置位置モ正シカラサルモノアルカ如シ彼方諒解ヲ得テ其ノ位置ヲ確
ル積リ

樺太水道浮標ニ就テハ尚交渉シ来ラス同水道附近ニ驅逐艦ニ

隻ヲ留メ彼ノ交渉ニ來ルヲ待タシメ居レリ

七月四日

樺太水道警備中ノ第六驅逐隊司令同隊第二小隊ニ交代シ紋港狀況報告ヲ受ク

之ニ依レハ露國設標船ハ間宮海峡南北水道ノ設標ヲ了リ爰ニ十日ニ至ルモ交渉シ来ル模様ナク又當地ヲ經テ尾港ニ赴キ本月五日當地ニ紋港セル索標丸(陸軍御用船ヲ兼ヌ)船長ニ依頼シ尾港泥港及間宮海峡附近ヲ偵察セシメタル処ニ依レハ露國設標船ハインジボル及ナジヨージヌイトハ同地附近ニ在ラス既ニ浦塩ニ紋港シタルモノノ如シ

以上ノ狀況ヨリ察スルニ露國側ハ樺太水道ニハ日本側ニテ設標シタル現狀ニ於テハ強ク自ら設標セントスルノ意趣ナキト明カニシテ此ノ終秋季撤標期迄放任シ置クモノムアラサルヲト思考セラル

依テ驅逐隊ヲ東海岸油田地方及漁場等ヲ巡視航セシメ度標定ス

フルニ付今後當分ノ間駆逐艦及栗橋等交代ニ一隻宛ヲ樺
太水道附近ニ配シ航路ノ監視及露國側ヨリ交渉シ来ヲタル場合之
ニ應ジシムルストセリ
依テ左ノ通電報告ス

完

軍務局長
大要司官

臨時機密第三ニ番電

發臨時防備隊司令

露國側ハ間宮海峡水道ノ設標ヲ了ラタル以來今以テ樺太水
道浮標ノ件ニ關シ交渉シ来ル模様ヲ驅逐艦ノ偵察及俄國南
船ヨリ偵知シタルニ依レハ設標船インジイネール及アジジョーシヌイハ
尼港泥港及間宮海峡附近ヲ去レリ浦燈ニ毀リタルモノノ如シ
彼ノ真意ハ測リ難キモ露國側ニ於テハ日本ニテ樺太水道ニ設
標ヲ了ラタル後ナルヲ以テ交渉ヲ打切リ此ノ條設置スルモノニアラサ
ルカト思ハル

尚書分ノ内閣官海峽附近ニ繼續一隻宛ヲ配シ監視致若シ支
 渉シ來ルモノヲテハ之ニ應スル積テリ

間宮海峽航路浮標設置ニ関シ露國設標船トノ交渉ノ經過ハ前
 述ノ如クニシテ要スルニ露國ノ出先官吏ハ其ノ責任ヲ負ルモノカ然
 ト折衝スルニトテ進退シ而モ其ノ使命ヲ積局的ニ強行セリトスルヲ
 トモ爲サス尙方ニ於テ讓歩スルモノニ應シ交渉ヲ進メレバ誠意
 モナク何等交渉ヲ行フニトテ得ス今以テ事件ノ解決ヲ見ヤルヲ進
 擧グ

(終)